

田舎館村舗装個別施設計画



令和5年4月

目 次

- 1 舗装の現状と課題
 - 1.1 管理道路の現状
 - 1.2 舗装の現状
 - 1.3 舗装修繕予算の現状
- 2 舗装の維持管理の基本的な考え方
 - 2.1 舗装管理の基本方針
 - 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
 - 2.3 管理基準
 - 2.4 点検方法・点検頻度
 - 2.5 使用目標年数
- 3 計画期間
 - 3.1 計画期間
 - 3.2 修繕費用の見通し
- 4 対策の優先順位（補修計画の方針）
 - 4.1 対策優先順位
- 5 舗装の状態、対策内容、実施時期
 - 5.1 診断結果
 - 5.2 対策内容と実施時期

1 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

| 道路区分 | 管理延長 | 舗装延長 | | 舗装率 |
|-------|-----------|-----------|----------|--------|
| | | A s 舗装 | 砂利道 | |
| 1 級村道 | 25.4 k m | 25.4 k m | 0.0 k m | 100.0% |
| 2 級村道 | 9.2 k m | 9.2 k m | 0.0 k m | 100.0% |
| その他村道 | 132.6 k m | 66.6 k m | 65.9 k m | 50.3% |
| 計 | 167.2 k m | 101.2 k m | 65.9 k m | 60.6% |

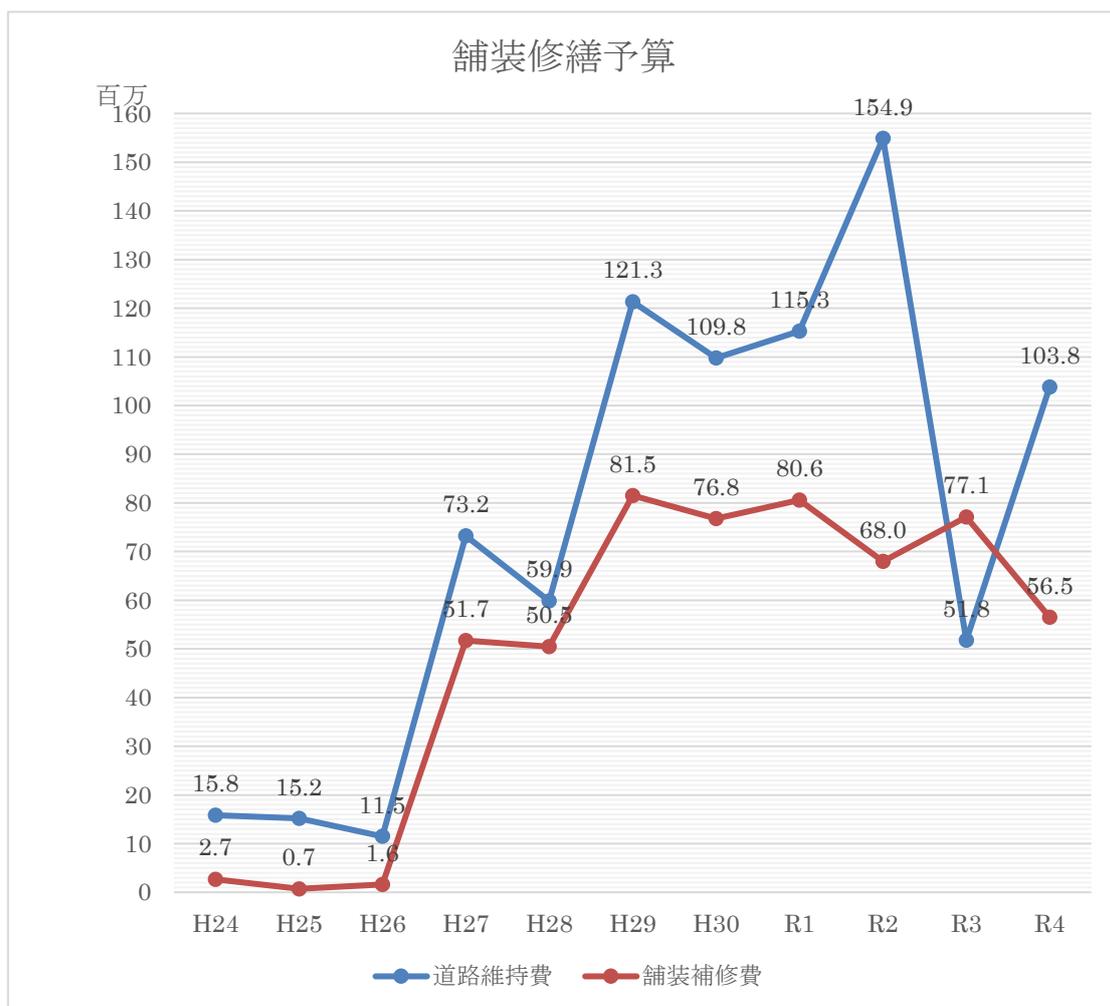
※ A s 舗装に簡易舗装を含まれる

1.2 舗装の現状

田舎館村が管理する 1・2 級村道及びその他村道、L=167.2 km のうち主要路線 L=42.6 km については、令和元年度の 2 巡目の路面性状調査及び、平成 27 年度からの舗装補修工事の結果を基に、調査内容の更新を行った結果、主要路線 L=42.6 km のうち L=10.9 km が診断区分Ⅲと判断され、主要路線の約 25.5% で修繕が必要とされています。なお、路面性状調査を実施した主要路線以外の村道については集落内の生活道路として修繕が必要な箇所もあり、職員によるパトロール等で点検を行い、簡易修繕等を行っています。

1.3 舗装修繕予算の現状

道路予算のうち舗装修繕予算は、平成27年度から社会資本総合交付金事業の活用及び自己財源等で舗装に関する維持修繕費用は増加傾向にありましたが、平成30年以降は一定の事業費で推移しています。令和2年度については社会資本総合交付金の補正等により、交付金事業費が増加していますが、事業については令和3年度に実施予定としています。



2 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

維持・修繕の実施に際しては、舗装の状態を適時に調査し、的確に把握することが大切であり、この調査結果にもとづき破損の原因を特定し、適切で効果的な維持・補修工法を選定し実施する。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

大型車交通量、路線種別等を踏まえ分類

| 分類 | 対象道路 |
|--------|--------------------|
| 分類Cの道路 | 1級村道、2級村道、その他村道の一部 |
| 分類Dの道路 | 上記以外の道路（その他村道） |

※管理道路の分類方針：「舗装点検要領」（国土交通省道局）

に基づき分類を行う。

2.3 管理基準

MCI 4未満、ひび割れ率40%以上、わだち掘れ量40mm以上のいずれかが確認された場合に必要に応じた修繕を検討する。

(ア) 点検方法・点検頻度

| | 点検方法 | 点検頻度 |
|----------|-----------------|----------|
| 分類 C の道路 | 路面性状調査 | 5 年に 1 度 |
| 分類 D の道路 | 巡視の機会を通じた路面状況把握 | |

※分類 D の道路について巡視のほか路面性状調査も含むこととするが、点検頻度については、適時検討したうえで実施する。
また、定期的な現場パトロールにおいて目視点検を行っている。

2.5 使用目標年数

- ・新設及び改築道路の目標年数は 20 年とする。
- ・修繕道路については、路線の分類等により別途考慮し、補修内容により目標年数を 10 年～20 年とする。

出典：「舗装工事設計の手引き」青森県土整備部

3 計画期間

3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は5年とする。

3.2 修繕費用の見通し

- ・令和元年度に行った路面性状調査結果に基づき算出した結果、修繕費用は約11.3億円の予算が必要となる見込み。

| 分類 | 判定区分 | 補修延長 | 概算工事費 | 合計 |
|----|------|---------|--------|--------|
| C | Ⅲ | 10,920m | 11.3億円 | 11.3億円 |

区分Ⅰ（健全）、区分Ⅱ（表層機能保持段階）、区分Ⅲ（補修段階）

※分類Dについては、平成28年度路面性状調査分のデータはありますが、データが古いため概算の修繕費用についても記載していません。

4 対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定し、分類Cの路線は、調査結果に基づき、中長期的な視点から効率的な維持管理・更新を図ります。

5 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

- ・令和元年度に行った路面性状調査により点検した42.6kmの

診断結果は以下のとおり

| | 区分Ⅰ 損傷レベル 小 | 区分Ⅱ 損傷レベル 中 | 区分Ⅲ 損傷レベル 大 |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 分類Cの道路 | 23,505m | 8,245m | 10,920m |

区分Ⅰ（健全）、区分Ⅱ（表層機能保持段階）、区分Ⅲ（補修段階）

※分類Dについては、平成28年度路面性状調査分のデータはありますが、データが古く、優先順位も低いため記載していません。

5.2 対策内容と実施時期

・路面性状調査完了路線については、調査結果に基づいて舗装修繕が効率的に実施されるようにその損傷に最も適した対策方法・時期を決定します。また、今後も定期的に路面性状調査を行い、引き続き修繕を行っていきます。

- ・別紙のとおり

田舎館村舗装個別施設計画

令和5年3月

田舎館村役場 建設課 建設第1係

青森県南津軽郡田舎館村大字田舎館字中辻123-1

TEL 0172-58-2111

FAX 0172-58-4751